

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
	○			

事務事業No 753 事業名 文化団体活動支援事業

[事業基本情報]

分野別目標	5	子どもが輝き、文化が薫る教育のまち
政策	4	文化・スポーツの振興
施策	2	芸術・文化の振興
取組	1	市民主体の芸術・文化活動の促進

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費
	その他		
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務
	その他		
会計・予算区分	会計		一般会計
	款		教育費
	項		社会教育費
	目		文化振興費
	大事業		文化振興事業
	事項		文化団体活動支援事業

事業種別	継続	主な事務事業	○
事業期間		～	
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	文化振興課	富松 真矢子 (435-1194)	
関連課			

「3つの磨き」との関連性

「市民力を磨く」		「基盤力を磨く」		「観光力を磨く」		該当せず	○
コミュニティーの充実		メリハリある都市づくりの充実		史跡和歌山城の充実			
市民の健康環境の充実		道路・公共交通網の充実		海を生かした観光シフトの充実			
総合的な子育て環境の充実		総合防災体制の充実		美味しい和歌山市イメージの充実			
その他		その他		その他			

1 事業概要及び実施内容

事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容					
和歌山市の文化振興を目的とする。	各種文化団体の活動を支援する。 文化団体活動支援事業（8事業） ・各団体への振興及び運営補助金 視覚障害者団体・和歌山文化協会・和歌山ジュニアオーケストラ・和歌山市民オペラ 紀州民芸盆裁協会 ・各団体の開催補助金 和歌山児童合唱団定期演奏会・とらふす少年少女合唱団定期演奏会・和歌山市民合唱団発表会					
実施内容	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	視覚障害者団体、和歌山文化協会、和歌山ジュニア・オーケストラ、シニア・ジュニアコーラス、和歌山市民オペラ、紀州民芸盆裁協会各団体への振興及び運営補助金 和歌山児童合唱団定期演奏会、とらふす少年少女合唱団定期演奏会、和歌山市民合唱団発表会の開催補助金	視覚障害者団体、和歌山文化協会、和歌山ジュニア・オーケストラ、シニア・ジュニアコーラス、和歌山市民オペラ、紀州民芸盆裁協会各団体への振興及び運営補助金 和歌山児童合唱団定期演奏会、とらふす少年少女合唱団定期演奏会、和歌山市民合唱団発表会の開催補助金	視覚障害者団体、和歌山文化協会、和歌山ジュニア・オーケストラ、シニア・ジュニアコーラス、和歌山市民オペラ、紀州民芸盆裁協会各団体への振興及び運営補助金 和歌山児童合唱団定期演奏会、とらふす少年少女合唱団定期演奏会、和歌山市民合唱団発表会の開催補助金	視覚障害者団体、和歌山文化協会、和歌山ジュニア・オーケストラ、和歌山市民オペラ、紀州民芸盆裁協会各団体への振興及び運営補助金 和歌山児童合唱団定期演奏会、とらふす少年少女合唱団定期演奏会、和歌山市民合唱団発表会の開催補助金		

2 事業コスト

事業費 千円	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		
	予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算	
	事業費	831	831	766	766	766	766	666			
	伸び率 (%)	-	-	-7.8%		0.0%		-13.1%		-100.0%	
	人件費	常勤職員	1,105	776	1,105	703	703	683	683		
		非常勤職員		257		92		81	81		
	小計	1,105	1,033	1,105	795	795	764	764			
	国庫支出金										
	県支出金										
	市債										
その他											
一般財源(税等)	831	831	766	766	766	766	666				
所要人数	常勤職員	0.14	0.1	0.14	0.09	0.09	0.09	0.09			
	非常勤職員		0.15		0.04	0.04	0.03	0.03			

3 目標及び実績

指標名及び達成状況					平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
活動指標	支援団体数	年度目標値			9	9	9	8		
		実績値			9	9	9			
	単位	団体	全体目標値			100.0%	100.0%	100.0%		
			全体目標達成度			100.0%	100.0%	100.0%		
成果指標	会員数	年度目標値			1,115	1,058	1,163	1,028		
		実績値			1,115	1,058	1,163			
	単位	人	全体目標値			100.0%	100.0%	100.0%		
			全体目標達成度			100.0%	100.0%	100.0%		
事業実施回数	年度目標値	年度目標値			28	28	28	27		
		実績値			28	28	28			
	単位	回	全体目標値			100.0%	100.0%	100.0%		
			全体目標達成度			100.0%	100.0%	100.0%		

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む	○ 緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 事業の方向性

方向性	A 計画どおり事業を進めることが妥当	B 1 事業の充実に向けた見直し	担当課評価 (所属長記載) B 1
	B 見直しのうえで継続	B 2 コスト削減・成果上昇	
	C 終了	B 3 類似事業との統合	
	D 休止	B 4 外部委託導入・拡大	
	E 廃止	B 5 受益者負担の適正化	
		B 6 終期設定	
		B 7 その他効率化	

担当課評価の根拠	文化振興の面からも重要な事業であり、定期演奏会等への補助金も有効であると考えている。よって、適正な補助金額(増額)を検討する。
「見直し」 「改善」案 ※上記、担当課評価が「B」評価の場合のみ	適正な補助金額を検討する。